

12月に入って突然の大雪！今冬は雪も多いし気温も低いし、なかなか厳しい目が続いていますね。新型コロナウイルスもまだまだ勢い収まらず、インフルエンザも気を付けたいところです。皆さん、気を付けていきましょう(´・ω・`)♪

Chapter.1 令和5年度 年度予約の受付について

令和5年度の年度予約（年間予約）の受付を開始しています。講義や勉強会、実習、研修など、一年単位でのセンターの利用をお考えの部署は、どうぞご予約ください。既にご予約を頂いている部署もありますが、予約は先着順ではなく、利用内容によって優先度が変わります。

利用部署の多様化・増加に伴い、ラボの利用の効率化を図っています。年度予約をされる際は、実際に使用される日程・時間帯に絞って申請して頂きますよう、ご協力をお願い致します。

例年通りに申請される部署につきましては、これまでの利用実績によっては、予約の受付をお断りすることがございます。

【申請例：毎週火曜日 13:00～17:00 で年度予約をお考えの場合】

使用例	申請例
実際は 15:00～16:30 前後の使用しかない場合	15:00～17:00 で申請して下さい。
実際は隔週でしか使用しない場合	「毎月 第2・第4 火曜日」などの指定をお願いします。
年間でおおよその使用日程が決まっている場合	年間のスケジュール表など、詳細を CSC までお知らせください。
講師（医師）の都合任せで具体的な時間指定などができない場合	年度予約として受け付けかねます。利用が決まった時点で「随時予約」または電話連絡をして頂くか、飛び入りでご利用ください。（空いている場合のみ利用可）



また、利用内容によっては、後から入った予約（随時予約）にお譲り頂く場合もあります。（例えば、年度予約の内容が CSC 以外でもできる会議等の場合、CSC でしかできない技術研修等の随時予約が優先されることがあります。その場合はご連絡いたします。）

年度予約の締め切り日はありませんが、4月初めよりご利用をお考えの場合は、3月中に申請をお願い致します。

CSC の予約での利用は、利用しなくなった場合は必ず連絡を頂いております。年度予約をしていても、利用されない場合は、必ず CSC までご連絡をお願い致します。（無断キャンセルが多い場合、次年度のご予約の受付をお断りさせていただきます。）

注意

◆◆◆ カリキュラムの変更による年度予約のご注意 ◆◆◆

学生への講義によっては、1月～6月と年度をまたぐものもあるかと思われませんが、CSC の年度予約はあくまでも4月～3月の年度で区切られています。令和4年度分で3月までご予約を頂いているものにつきましては3月末までの予約が保障されますが、令和5年度の4月以降分は再申請が必要です。



Chapter.2 第18回日本医学シミュレーション学会学術集会参加レポート

令和5年1月7日(土)・8日(日)に、和歌山県立医科大学で開催された「第18回日本医学シミュレーション学会学術集会」に、スタッフ津野が参加してきました！実に3年ぶりの現地参加です。

今回のテーマは、「医学シミュレーション教育のSDGsを求めて」。和歌山市は、SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として「SDGs未来都市」に選定されているそうです。

学会の1日目は主に講演会で、SDGsに絡めたシミュレーション教育についてのお話をいくつも聞くことができました。大阪医科薬科大学医学部医学教育センターの駒澤伸泰先生の「Society5.0(情報駆動型社会)におけるシミュレーション医療教育の役割」というお話では、10年・20年先のことは予測が立つが、30年後はどうだろうか？という問いがあり、予測不能な未来・事象への対応ができるのは徹底したシミュレーションがあってこそだというお言葉に確かにと首肯致しました。

予測不能な未来・事象に対応するのはとても難しいことですが、普段から「こういう時はこうする」という手段を確実に、数多く手にしておけば、そういうことが起きても「こうしたら対応できるかもしれない」という可能性が見えてきます。シミュレータを使ったあらゆるシナリオ訓練や、日常業務の中で起きたイレギュラーの振り返りといったことが、まさに予測不能な未来・事象への対応の可能性の向上に繋がりますよね。

そういった意味で、シミュレーション教育がいかに重要であるかということ

再認識させられました。

私自身はシミュレーション教育をする側には立ちませんが、近くで実習等を拝見していると、受講者側の方々は受け身であることが多いように思います。受講者側から指導者側へ、「こういう場合はどうか」という疑問をもっと投げかければ、実習自体も活発になるし、指導者側の気づきにもなるので、一つの実習が教える側・教わる側双方にとってのシミュレーション教育になるのではないかと思います。実習・講義を邪魔するつもりは毛頭ありませんが、専門的な医療知識はほとんどない私から質問をぶつけてみたいなあなんて思ったり(笑)

2日目はハンズオンセミナーが開催されていました。こちらは医療従事者のみが対象となっているため、私は見学のみの参加です。(撮影厳禁なので写真はご用意できず…)

何はともあれ、久々の学会参加。事務職員でも考えさせられることの多い有意義な時間を過ごすことができました。来年度は3月に東京での開催が予定されているそうです。

興味のある方はぜひ
ご参加くださいね！

和歌山はみかんより梅干し推しっばい。ホテルの朝食バイキングにみかんではなくオレンジが並んでいたのには笑いました。南高梅の食べ比べ楽しかった♪でかい!!



Chapter.3 新規シミュレータ等購入に関するアンケートへのご協力をありがとうございました。

2022年10月~12月末までに募集しておりました「新規シミュレータ等購入に関するアンケート」へご回答頂き、ありがとうございました。今回も多くの部署からご回答を頂き、シミュレータ等を必要としている現状をうかがい知ることができました。

購入については審議を終えております。

新しく購入したのものについては、また掲示やHP上にてお知らせいたしますので、どうぞお楽しみに！



今年度のCSC通信はこれが最後となります。来年度はまたデザインを変えますので、どうぞお楽しみに♪
(作成:この冬から猫を飼い始めた津野)

編集後記



旭川医科大学 臨床シミュレーションセンター
内線：2860 スタッフ：津野
<http://www.asahikawa-med.ac.jp/simu/AMUSIMU/index.html>
E-mail: skillslab@asahikawa-med.ac.jp